

飯田線落石事故現場

名古屋地本現地調査実施！

会社は危険箇所を認知していた？

名古屋地本は3月10日、豊橋運輸区分会長と共に1月25日に発生した飯田線、三河榎原駅～湯谷温泉駅間での落石衝突事故現場の現地調査を実施しました。

現場は落石した部分をコンクリートなどで固めたり、ネットで保護したものの、十分とは言えず落石の危険性があります。他の箇所にも危険な岩がいくつかあり、私たちは会社に根本的な安全対策を求めます。

飯田線落石事故に対し緊急に申し入れを行う！

JR東海労名古屋地本第18号
2012年2月3日

東海旅客鉄道株式会社
名古屋鉄道事業本部
本部長 中村 隆 殿

JR東海労働組合名古屋地方本部
執行委員長 山田 哲也 様

飯田線での落石事故に関する申し入れ

1月25日、6時頃飯田線三河榎原～湯谷温泉駅間で発生した落石により508M列車は長時間の遅延を行った。
これまで飯田線などの山側部路線に対する落石事故等の対策を求めてきた所だが今回の落石事故に因り下記の通り申し入れを行うので、早急に業務委員会を開催すること。

記

1. 事実経過を明らかにすること。
2. これまでどの様な対策がされていたのかが明らかにすること。
3. 今後の対策を明らかにすること。

以上



落石箇所



まだまだ危険な箇所



私たちは飯田線の絶対安全を求めます。